



# テクノロジーが 社会を変える 最前線にいる楽しさ

総務省国際戦略局通信規格課長

**山口 修治** YAMAGUCHI Shuji

- 平成 5年 4月 郵政省採用
- 同 電気通信局電波部基幹通信課
- 平成 6年12月 同 郵政研究所技術開発研究センター
- 平成 8年 7月 同 電気通信局電波部移動通信課システム開発係長
- 平成 10年 7月 英国留学 (Essex大)
- 平成 11年 7月 郵政省電気通信局電気通信事業部データ通信課ネットワーク化促進係長
- 平成 12年 7月 科学技術庁研究開発局総合研究課課長補佐
- 平成 13年 1月 文部科学省研究振興局情報課課長補佐
- 平成 14年 8月 総務省情報通信政策局技術政策課課長補佐
- 平成 16年 5月 在英日本大使館一等書記官
- 平成 19年 7月 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐
- 平成 21年 7月 同 情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室課長補佐
- 平成 22年 7月 (独) 情報通信研究機構テストベッド企画戦略グループマネージャー
- 平成 23年 4月 同 テストベッド構築企画室長
- 平成 25年 7月 総務省総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課企画官
- 平成 27年 8月 同 情報通信国際戦略局通信規格課企画官
- 平成 29年 7月 内閣府宇宙開発戦略推進事務局参事官
- 令和 元年 7月 現職

## 仕事のやりがい

入省以来、携帯電話等の移動通信システムの導入に向けた制度整備、将来ネットワーク等の先端技術の研究開発・標準化の推進等、新しいテクノロジーの社会への導入や次代のテクノロジーの発掘・育成に関わる政策立案・制度整備に携わってきました。「ICT」を核に、私たちの社会生活をより豊かで、便利で、安心なものにしていくことが総務省の使命の1つであり、他府省庁と比べても、テクノロジーとの親和性の高い業務を担ってきたと思います。5G、AI、IoT等の進展著しいICTを常に身近に感じつつ、ICTによる社会変化を創造する政策立案や、新しいICTを実社会に導入する制度整備を最前線で担うことが出来る楽しさが、私の仕事への原動力になっています。

## これまでを振り返って

私自身が新しいテクノロジーの導入に携わったものに、高速道路で利用されるETC、Suica等で利用される非接触ICカード、スマートフォンで利用される4Gシステム等があります。いずれも電波を利用するため、既存のシステムに干渉を与えないか、一定の品質を保って通信可能か等を、総務省の諮問機関でご審議いただきました。その際、事務局として汗をかいた仕事も、数年後に世の中で実際に利用されている状況を見ると、社会の進展に少し関わった充実感を実感できます。

このような仕事に加え、文部科学省、在英日本大使館、情報通信研究機構(NICT)、内閣府で勤務する等、総務省外でも様々な仕事を体験しました。現在は通信規格課において、ICT分野の標準

化政策や国連の専門機関であるITU(国際電気通信連合)標準化部門の日本としての対応のまとめ役を担っていますが、これまでの様々な経験による成長が、現在の仕事に生かされていると感じています。

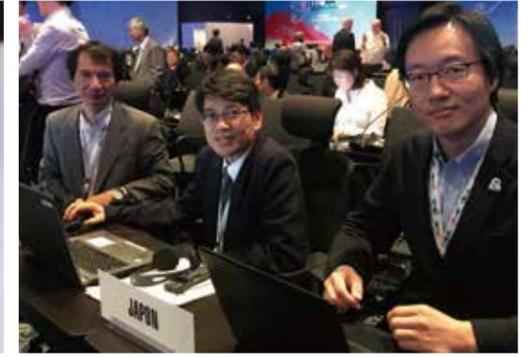
## 就職活動中の皆さんへ

2020年春から5Gがサービスを開始します。私が子供の頃、テレビや小説にでていた完全自動運転車も今後導入されていきます。皆さんが総務省で本格的に活躍される頃には、AI、IoT、量子等テクノロジーの進展が益々加速する時代に入り、テクノロジーが社会の仕組みやルールを大きく変えていくことになるでしょう。このため、専門知識を習得された皆さんが、総務省において活躍される機会も増え、皆さんへの期待も大きなものになると思います。他

方、先にご紹介したとおり、総務省は、様々な経験を通して職員自身を着実に成長させてくれる組織でもあります。ぜひ総務省の門をたたいてみてください。次代を担う皆さんと一緒に仕事をする機会を楽しみにしています。



日欧国際共同研究シンポジウムにて



ITU RA(無線通信総会)にて



JICA(国際協力機構)標準化研修にて

## 若手職員の声



総務省国際戦略局通信規格課  
**長岡 恵里奈**  
(平成29年度入省)

私は、通信規格課の中で、電気通信に関する国際連合の専門機関 (ITU) と、ICTの国際的な決まりに関連する連絡調整を担当しています。2019年にエジプトで開催されたITU無線通信総会には、日本代表団の一人として参加しました。ITUの決定に日本の意向を反映させるため、民間企業の方々とも一丸となって仕事をする事は大変刺激的です。

山口課長は、課内全体への気配りを大切にされており、若手職員にも積極的に声を掛けて下さいます。課の職員も、とても気さくな方が多く、お互い助け合いながら日々業務を進めています。

## PROJECT DXを加速する 標準化戦略

5G、AI、IoT等の利用の拡大により、社会のデジタル化が進展し、社会経済システムを革新する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」を加速することが期待されています。ICT分野の標準化は、従来のように通信方式の互換性や相互接続性を確保するのみならず、このDXを加速し、日本発技術の普及や市場の早期拡大を実現する政策ツールとして、益々重要なものになっています。昨今は、標準化機関そのものも、標準化の対象やプロセスを変化させ、自身の影響力の拡大に尽力しており、参加するプレイヤーも欧米を中心とする従来の顔ぶれから中国企業の台頭が顕著になってきています。

通信規格課では、このような状況や中長期的な国益の視点を踏まえて、DXの加速にもつなげる標準化戦略を、有識者の知見・ノウハウを結集して検討しているところです。